



さむかわ

議会だより

第201号

令和4年2月1日
発行



梶原景時館址(一之宮)

12月会議
1月会議

CONTENTS

- | | |
|------------|-----|
| ● 議案審査 | P 2 |
| ● 一般質問 | P 6 |
| ● 議会TOPICS | P11 |

● 12月・1月会議 ●

寒川町のこんなことが 決まりました。

12月会議 会議期間 11月26日～12月14日
1月会議 会議期間 1月4日

12月・1月会議の議案は

町長提出議案・・・23件
議員提出議案・・・1件

今号では
この中から
5つを
Pick up

本会議の
記録



各委員会の
記録



可決された
意見書・決議



※12月・1月会議の会議録については、2月下旬にホームページに公開します。
右の二次元コードを読み取ることでご覧いただけます。

〈議案第56号〉

Pickup 1

新型コロナウイルス感染症に関する 予算のほか、寄附金の予算を補正します

ふるさと納税の実績等に鑑み、寄附金の歳入予算を増額します。

こんな質問がありました

Q 今後さらなる寄附獲得に向けての取り組みは。

A ふるさと納税専用サイトの利用状況も踏まえ、町のブランドスローガンにつながる新たな返礼品等の開発に努めます。

Q ストリートスポーツの体験型返礼品を加えることについて、町の見解は。

A オリンピックでの活躍を契機として急速に愛好者が増えているストリートスポーツは、魅力的な体験型返礼品として大きな可能性を秘めていると考えます。



Pickup 2

各公共施設の指定管理者が決まりました

〈議案第65号・議案第66号・議案第67号・議案第68号〉

指定管理者一覧表

施設	指定管理者	指定の期間
宮山地域集会所 ほか11施設	寒川町地域集会所 運営委員会連絡協議会	5年 (令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで)
寒川町立公民館及び 寒川町立文化福祉会館	株式会社 オーエンス	5年 (令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで)
寒川総合図書館及び 寒川文書館	TRC・相鉄企業体	5年 (令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで)
寒川町健康管理センター	社会福祉法人 寒川町社会福祉協議会	1年 (令和4年4月1日から 令和5年3月31日まで)

Pickup 3

茅ヶ崎市と河童徳利ひろば整備に関する
協議書を締結します

〈議案第69号〉

茅ヶ崎市・寒川町の広域連携推進計画に基づき、寒川町の区域内に茅ヶ崎市の公の施設を設置するため、広場整備に関する協議書を締結するものです。
広場の整備は茅ヶ崎市の負担で行われ、令和3年度中に完了する予定です。

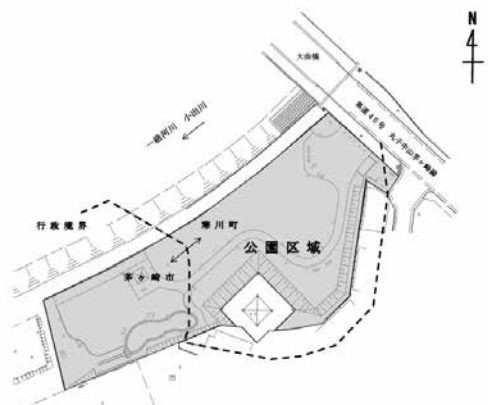
こんな質問がありました

Q 町民や町内の団体も利用できるのか。

A 茅ヶ崎市の公園条例に基づき利用することとなりますが、町民も利用できます。

Q 防災的な役割はあるか。

A 停電時でも井戸水が使用できる手押しポンプ、ソーラー式の公園灯、かまどベンチなどを設置し、防災機能を高める予定です。



河童徳利ひろば 区域図(大曲4丁目および茅ヶ崎市西久保地内)

Pickup **4**

**町長、副町長、教育長、一般職の職員の
期末手当を引き下げます**

人事院の給与改定の勧告を考慮し、町長、副町長、教育長、一般職の職員の期末手当の支給率を0・125月引き下げます。

**特別職及び一般職
12月期末手当の一覧表**

特別職支給額	令和3年度	令和2年度	前年比
町長	2,224,372円	2,363,395円	△ 139,023円
副町長	1,805,792円	1,918,654円	△ 112,862円
教育長	1,658,216円	1,761,854円	△ 103,638円

一般職支給額 (1人当たり平均)	令和3年度	令和2年度	前年比
税込み額	728,962円	775,935円	△ 46,973円
勤続年数	15年 8月	15年 6月	—
平均年齢	42歳 7月	42歳10月	—

Pickup **5**

町議会議員の12月期末手当を減額します

新型コロナウイルス感染症対策に伴う地域経済への影響及び町の財政状況を鑑み、町議会議員の12月期末手当を5%減額します。

**町議会議員
12月期末手当の一覧表**

	本来支給額	実支給額
議長	1,250,190円	1,187,681円
	本来支給額から△5%	
	(削減額 62,509円)	
副議長	1,036,170円	984,362円
	本来支給額から△5%	
	(削減額 51,808円)	
議員	960,480円	912,456円
	本来支給額から△5%	
	(削減額 48,024円)	

令和3年第2回定例会 12月会議 審議結果

議案番号	議案	会派名	さむかわ自民党					大志会			日本共産党		公明党			立憲さむかわ				
			議決結果	天利 薫	横手 旭	杉崎 隆之	岸本 優	吉田 悟朗	佐藤 正憲	山上 秀樹	佐藤 一夫	青木 博	山田 政博	大田 真奈美	黒沢 善行	関口 光男	小泉 秀輔	茂内 久代	橋本 修一	柳田 遊
12月	56	令和3年度寒川町一般会計補正予算(第6号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	57	令和3年度寒川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	58	令和3年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	59	令和3年度寒川町介護保険事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	60	令和3年度寒川町下水道事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	61	寒川町手数料条例の一部改正等	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	62	寒川町国民健康保険条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	63	寒川町道路占用料条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	64	寒川町水路に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	65	宮山地域集会所ほか11施設の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	66	寒川町立公民館及び寒川町立文化福祉会館の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	67	寒川総合図書館及び寒川文書館の指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	68	寒川町健康管理センターの指定管理者の指定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	69	公の施設の区域外設置に関する協議	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	70	町道路線の認定	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	71	寒川町特別職の職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	72	寒川町一般職の職員の給与に関する条例及び寒川町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	73	令和3年度寒川町一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	74	令和3年度寒川町国民健康保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○
	75	令和3年度寒川町後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○
76	令和3年度寒川町介護保険事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
77	令和3年度寒川町下水道事業特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	●	●	○	○	○	○	○	○	○	
議員提出第2号	寒川町議会議員の議員報酬、費用弁償及び期末手当に関する条例の一部改正	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

○：賛成 ●：反対 (佐藤一夫議長は、表決には加わりません。橋本議員、柳田議員、柳下議員は会派に属さない議員です。)

令和4年第1回定例会 1月会議 審議結果

議案番号	議案	会派名	さむかわ自民党					大志会			日本共産党		公明党			立憲さむかわ				
			議決結果	天利 薫	横手 旭	杉崎 隆之	岸本 優	吉田 悟朗	佐藤 正憲	山上 秀樹	佐藤 一夫	青木 博	山田 政博	大田 真奈美	黒沢 善行	関口 光男	小泉 秀輔	茂内 久代	橋本 修一	柳田 遊
1月	1	令和3年度寒川町一般会計補正予算(第8号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○：賛成 ●：反対 (佐藤一夫議長は、表決には加わりません。橋本議員、柳田議員、柳下議員は会派に属さない議員です。)

9人の議員が

一般質問

一般質問とは？

皆さんの生活にかかわる大切な内容について、町議会議員が町に対して質問を行います。

二次元コードから一般質問の録画映像をご覧いただけます。スマートフォンやタブレットでご視聴ください。



柳田 遊 議員

次世代への都市形成に重要な町の地域公共交通の取り組みは



Q コロナ禍の影響や、免許を返納された後に移動手段の無い方の増加など、今後の社会情勢に対応した町の人口を支えるだけの地域公共交通を充実させる取り組みが自治体運営に問われる。町はどのように持続可能な地域公共交通の実現に取り組むのか。

A 少子高齢化が進むことや生活様式の転換等、公共交通の利用状況や取り巻く環境は、今後も変化し続けるものと認識します。将来にわたり地域公共交通を維持していくことは、日常生活にとって不可欠であり、町としても注力し取り組みを考え

です。真に必要な移動とは何か、それにふさわしい移動手段は何かといった課題への改善の視点を持ち、鉄道、バス、タクシー、自家用有償旅客運送、コミュニティバスなど、町内におけるさまざまな交通手段の総合的な活用を図り、持続可能な地域交通の確保に努めます。

Q 地域公共交通活性化再生法改正により、地域公共交通計画の作成が自治体に努力義務化された。多様な交通サービスを組み合わせた地域が自らデザインする計画が求められているが、町の考えは。

A 地域公共交通の在り方として、まちづくりの基本となる都市マスタープランとの連携は不可欠と考えます。各拠点等をつなぐ都市ネットワークを補完する移動手段や、交通環境の向上を基本に、まちづくり、観光振興等地域戦略との一体性を確保した地域公共交通の実現に向け、取り組みたいと考えます。



出典：愛知県瀬戸市ホームページより「住民バス」



橋本 修一 議員

2025年問題に向け
地域包括ケアシステムの推進を



Q 町民と訪問医との関わりの大
切さについて町の見解は。

A 医療と介護の連携を深め、一
体的なサービス提供が重要です。茅ヶ
崎市とともに実施する在宅医療介護
連携推進事業で、今年度は訪問診療
の医師、訪問看護の看護師を講師に
招き、在宅医療看護を理解するため
の住民向け研修会を開催しました。

Q 在宅療養支援診療所の体制は。

A 町内には、在宅療養支援診療所
が3カ所、強化型在宅療養支援診療
所が1カ所、強化型在宅療養支援病
院が1カ所あります。

Q 寒川町の特別養護老人ホーム
の待機者数の状況は。



A 平成31年4月1日で81人、令和
2年4月1日で76人、令和3年4月1
日で65人と徐々に減少しています。

Q 介護難民の現状と具体的対策
について町の取り組みは。

A 必要な介護を受けられない状
態の方は把握していませんが、経済
的な困窮者については、社会福祉協
議会の貸付制度や保健福祉事務所
などの相談機能につなげています。

Q 高齢者保健福祉計画
によって、高齢者やその家族がサー
ビスを十分に活用できる体制を整
えていきます。

A 医療、介護、予防、そして自立し
た日常生活の支援が包括的に確保
される地域包括ケアシステムの構築
に向けて引き続き取り組むことに
、町民主体の通いの場への積極的
な関与のほか、介護予防、あるいは
健康意識の向上など、さらなる取り
組みを図っていきます。

Q 高齢者施策に対する町の考えは。

A 医療、介護、予防、そして自立し
た日常生活の支援が包括的に確保
される地域包括ケアシステムの構築
に向けて引き続き取り組むことに
、町民主体の通いの場への積極的
な関与のほか、介護予防、あるいは
健康意識の向上など、さらなる取り
組みを図っていきます。



佐藤 正憲 議員

消防団と自主防災組織の
連携により地域防災力の強化を



Q 「消防団を中核とした地域防災
力の充実強化に関する法律」に基づ
く、消防団の重要性の認識は。

A 地域防災力の観点で見たとき、
近い将来、南海トラフ地震や首都直
下型地震の発生が懸念される中、近
年では台風の巨大化や線状降水帯
などの局地的な豪雨等も激化・頻
発化しており、それらによる被害も
各地で発生しています。

Q 消防団と、自主防災組織を持つ
自治会の間で、地域防災の在り方や
考え方などについて、話し合いの機
会をつくるのが重要と考えるが、
町の見解は。

A 自治会と消防団との関わり方
については、各自治会及び各消防分
団の自主性に委ねるべきという立場
を基本としています。

Q 消防団と、自主防災組織を持つ
自治会の間で、地域防災の在り方や
考え方などについて、話し合いの機
会をつくるのが重要と考えるが、
町の見解は。

A 自治会と消防団との関わり方
については、各自治会及び各消防分
団の自主性に委ねるべきという立場
を基本としています。

仮に話し合いの機会が必要な場
合には、対応していきます。

Q 消防団と自主防災組織がしつ
かりとした連携体制の下、地域防災
力の強化に努めるべきと考えるが。

A 地域防災力の向上は非常に大
事であり、災害発生時はもちろん、
平時においても、自助と公助の間を
取り持つ共助という部分の性格も
兼ね備えていると捉えています。

地域防災力の充実強化のために
は、ともに不可欠な組織であり、組
織の充実や連携強化も必要です。今
後も良好な関係が続けられるよう
努めていきたいと考えています。





青木 博 議員

町は民主主義の根幹 投票率の向上に取り組み



Q コロナ対策や、利便性向上を図るため、投票所増設の考えは。

A 増設については、国からの通知も勘案し、基本的には1つの投票所につき、おおむね6千人を超えればこれを分割し、望ましいと言われる3千人程度にするものと考えます。

Q 投票率向上には、小・中学校からの教育が必要と考える。模擬投票の他に啓発等を行う考えはあるのか。

A 小・中学生を対象に、選挙啓発ポスターコンクールや明るい選挙標語コンクールを実施しています。

環境対策に尽力し 気象危機打開を

Q ゼロカーボンシティを表明した町として、省エネ推進の取り組みは。

A 令和3年3月に策定した第3次寒川町環境基本計画において、省エネルギーの推進を位置付け、町民や事業者に向けた省エネルギーの意識啓発、町の事務事業における省エネルギーの推進、家庭等への省エネ



機器導入の推進を具体的な施策と掲げ、展開しています。

Q 町の地理的状況を考えると太陽光発電が有効ではないか。

A 町域の脱炭素化を進めていく上で、太陽光発電を柱とした再生可能エネルギーの普及促進は、積極的に進めていくべき取り組みと考えます。

Q 二酸化炭素排出実質ゼロを目指すため、今後の取り組みは。

A 町民や事業者のご理解、ご協力をはじめ、省エネルギーの推進、再生可能エネルギーの利用の推進を大きな柱とし、さまざまな施策を展開していきたいと考えます。



山田 政博 議員

高齢者の加齢性難聴に 補聴器購入の補助をせよ



Q 周囲とのコミュニケーションが取りにくくなる加齢性難聴の現状について問う。

A 令和2年度の介護認定調査では対象者のうち約30%の方が聞こえが悪いと判定されました。相談を受けた場合は、中耳炎やウィルスなどが原因であることも考えられますので、医療機関での受診を勧めています。

Q 県内自治体の補聴器購入補助制度の状況を問う。

A 厚木市では75歳以上の在宅の方、清川村では65歳以上の在宅の方が補聴器を購入した場合、1万円を上限に

助成をしていると聞いています。

Q 補聴器購入補助制度の導入に
対しての町の見解を問う。

A 現時点では、補助を行う予定はありませんが、県内での先行事例を踏まえ、引き続き研究していきます。

町民の納得できる 公文書公開をせよ

Q 公文書管理の現状について問う。

A 寒川町情報公開条例において、公文書の定義や住民の知る権利などを定めています。また、文書の收受から保存、廃棄に至る具体的な事務処理については、文書取扱規程のつとりに適切に管理しています。

Q 町情報公開条例で非公開情報の町の判断基準について問う。

A 寒川町情報公開条例第5条第1号から第6号に該当する場合は非公開情報となります。なお、制度の運用には、職員の個人的解釈とならないよう「寒川町情報公開条例解釈と運用」に沿って行っています。





柳下 雅子 議員

脱炭素社会構築に向け
実効性ある施策の推進を



Q 2021年8月、気候変動に関

する政府間パネル（IPCC）で地球

温暖化は人間活動によると断定し

た。寒川町の第3次環境基本計画で

は2050年までに二酸化炭素排出

実質ゼロの目標を掲げた。

どのような道筋で脱炭素社会を

実現させるのか。

A 令和3年4月に茅ヶ崎市と共同

で「茅ヶ崎市・寒川町気候非常事態

宣言」を表明しました。また、寒川町

美化センター及び寒川広域リサイ

クルセンターへの100%再生可能

エネルギー由来の電力導入で、町公

共施設の温室効果ガス排出量の約

2割の削減が見込めます。

これらの取り組みをはじめとし

て周知啓発により、皆さんにも身近

なところから脱炭素化を行ってい

ただけるよう進めていきたいと考

えます。

Q 重点プロジェクトの確実な推進

のために必要な地球温暖化対策実

行計画の区域施策編の策定は。

A 区域施策編の策定は町域の脱

炭素化に有効と捉えています。町

環境基本計画の重点プロジェクトに

位置づけた二酸化炭素排出実質ゼ

ロのまちキックオフプロジェクト

を区域施策編の趣旨を含むものと

して取り組んでいます。

Q 二酸化炭素排出実質ゼロのまち

づくりに向けたキックオフ事業とは。

A 未来を生きる子どもたちに良

好な環境を引き継いでいくために私

たちができること、やるべきことを、

生活の中でできることから
始めよう

仕事☆☆ テレワークを定着させよう	ファッション☆ 衣類は大切に長く着よう
生活☆ LEDへ交換しよう	食☆ 植物由来の食事へ転換
レジャー☆☆ 休暇は近場で過ごそう	日常生活でもいいことが！ 太陽光・エネルギーは非常時の電源に LEDは電気代節約に

出典：環境省ガスインベントリオフィス



天利 薫 議員

町民の生活環境に合わせた
ごみ・資源物の削減を目指せ



Q ごみ・資源物の回収の課題につ

いて町民や自治会から厳しいご意見

があるが、町はどう捉えているのか。

A ごみ・資源物の回収の課題に

ついて、大きく4点あると認識して

います。ごみ処理を委託している茅

ヶ崎市と収集するごみの規格を合わ

せる必要があることや、排出量に応

じた費用負担として導入している

指定収集袋を不燃ごみと可燃粗大

ごみに導入していないこと。資源物

置き場が遠いということ、資源物

の回収が月に1回しか無いというこ

とです。令和4年2月、収集業務の

委託業者、田端自治会、田端地域の

皆さまにご協力いただき、ごみ・資

源物収集の試験運用を実施し、その

運用方法を町内全域に広げること

が可能かどうか等を含め、検証して

いきます。

Q 人口減少と資源化が進むと廃

棄物も減少傾向にある。ごみ・資源

物の将来の推移をどのように捉え

ているのか。

A 令和2年度実績値と令和18年

度の推計値との比較では、人口は約

5%減り、ごみは18%、資源物につ

きましては6%の減と見込んでいます。

Q 近い将来、人口減少で財政確保

も厳しく、同時にごみの廃棄量も減

り、町民のライフスタイルの変化等

を考えると、エコステーション化の

考えもあると思うが、町の考えは。

A 田端地域での試験運転を検証

すると共に、町民にとってより良い

方法を研究する中の一つとして、考

えていきたいと思えます。



出典：環境省ホームページより
http://www.env.go.jp/recycle/yoki/a_1_recycle/index.html



杉崎 隆之 議員

ひきこもりに対する対策を



Q 町におけるひきこもりの要因は。

A 個々のプライバシーや心的にナーバスな部分に触れる必要があり、全体像はつかみ切れていないのが現状です。学校での不登校やいじめ、職場での挫折など、多様な背景がある中で、さまざま必要な要因により、ひきこもらざるを得ない実態があると考えられます。

Q ひきこもりに対する町民の理解と意識醸成も必要と考えるが、町の今後の取り組みは。

A 自己責任とするのではなく、社会全体で取り組むべき課題と捉え、SNSの活用やメディアへの働きかけなど、効果的な広報や啓発を図るとともに、近隣自治体との連携強化を進めていきます。

健康施策について問う

Q 带状疱疹の予防に有効だと考えられるワクチン接種に対して、助成を実施している自治体がある。



Q ワクチン接種に対する町の見解は。

A 予防接種法に基づき定期接種としての実施が望ましいと考えますので、国や県、その他自治体の動向を注視しながら調査・研究します。

Q ピロリ菌検査は、胃がん予防に高い効果があると考えられる。検査に対する町の見解は。

A 世界保健機関(WHO)はピロリ菌を胃がんの確実な発がん因子に認定し、町でもピロリ菌の除菌治療は胃がんの予防に効果があると考えます。今後、胃がん予防対策として検査の導入を進めるため、実施内容、方法等の協議、関係機関の調整にスピード感をもって対応します。



黒沢 善行 議員

教育現場での「がん教育」の現状と課題は



Q 本年度は、中学校での「がん教育」全面実施の初年度となっている。町の「がん教育」の取り組みに変化はあるか。

A これまで小学校6年生と中学校3年生の授業でがんを防ぐための生活習慣について学習してきました。今年度から学習指導要領にがん教育が位置付けられ、予防のための生活習慣について中学校2年生で扱う内容とされました。

Q 「がん教育」を進める上で、外部講師の活用が課題の一つと考える。外部講師活用についての見解は。

A がん教育について町内小・中

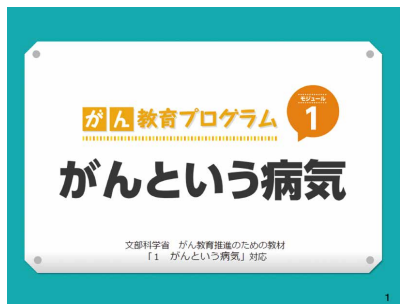
学校の教職員向け研修会を次年度計画したいと考えています。外部講師の活用については、県と連携を図りながら、学校の実情に応じて実施するよう働きかけていきます。

生ごみ堆肥化による

焼却ごみの減量をはかれ

Q 町は、各家庭から出されるごみの削減については、4Rの周知啓発によって進めてきた。ごみ削減の先進事例を参考に生ごみの堆肥化を行うべきと考えるが、町の見解は。

A 堆肥化を進める上では、生ごみだけを容器に出してもらおう仕組みの構築や、住民理解、集積所の管理、収集や容器の洗浄、異物の除去など、さまざま課題があることから、まずは今以上に生ごみの量を減らすため、生ごみ3キリ運動、キエーロなど生ごみ処理器の啓発に取り組んできました。今後あらゆる機会を捉えて周知啓発に努めます。



出典：文部科学省ホームページより
https://www.mext.go.jp/a_menu/kenko/hoken/1385781.htm

防災備蓄倉庫を視察しました

総務常任委員会では、12月1日（水）に防災備蓄倉庫（さむかわ中央公園内）を現地踏査し、町民安全課から災害時の対応や備蓄品・備蓄食糧などの説明を受けました。



政策提言書「高齢者に向けての有効な情報伝達手段の 取り組みについて」を提出しました

文教福祉常任委員会では、議員間討議の結果を踏まえ、12月27日（月）に町へ政策提言書「高齢者に向けての有効な情報伝達手段の取り組みについて」を提出しました。



「町内飲食店及び小売店向け経済支援に対する 政策提言書」を提出しました

建設経済常任委員会では、議員間討議の結果を踏まえ、12月15日（水）に町へ「町内飲食店及び小売店向け経済支援に対する政策提言書」を提出しました。





令和4年第1回定例会の会期を決定

1月会議を1月4日に開催し、第1回定例会の会期を1月4日から12月28日までの359日間に決定しました。

議会を傍聴される皆さまへ



新型コロナウイルス感染症予防の観点から、当面の間は人数を制限した上で傍聴を実施しています。ご理解とご協力をお願いいたします。なお、会議の様子は、インターネット中継でもご視聴いただけますのでご利用ください。ご不明な点については、議会事務局へお問い合わせください。

●議会事務局 総務担当 TEL 0467-74-1111 (内) 341-342



インターネット生中継・録画映像はこちらから



傍聴について

副議長が辞職しました

令和3年12月9日付けで小泉秀輔議員から副議長職の辞職願が提出され、12月14日の本会議において許可されました。

寒川町議会政治倫理審査会

令和3年9月24日付けで設置された寒川町議会政治倫理審査会の会議録及び審査結果報告書を、町議会ホームページに公開しました。

審査の対象となる事項	
該当議員	小泉 秀輔
該当事項	寒川町議会議員の政治倫理規程 第3条第1項第12号該当
内容	令和3年9月24日発行の写真週刊誌に実名入りで掲載された記事が同規程に抵触する可能性がある。



会議録



審査結果報告書

広告

お家のことなら、何でもご相談ください!

さむかわ いい家! つくり隊

任せて安心! 確かな技術! 寒川町商工会がご紹介する地元企業で安心施工です。ご相談・お見積りは無料です。まずはお気軽にご相談ください!

- バリアフリー
- キッチン・トイレ・お風呂
- 畳・床リフォーム
- 外壁・屋根・外構
- 窓雨どい

さむかわ いい家! つくり隊
TEL 0467-75-0185 (寒川町商工会内)

3月会議日程

日	月	火	水	木	金	土
2/20	21	22 本会議 (議案上程等)	23	24	25 本会議 (議案質疑等)	26
27	28 総務常任委員会	3/1 文教福祉常任委員会	2 建設経済常任委員会	3	4 東海道新幹線新駅対策特別委員会 田端西地区まちづくり対策特別委員会	5
6	7 本会議 (一般質問)	8	9	10	11 予算特別委員会	12
13	14 予算特別委員会	15	16	17 予算特別委員会	18	19
20	21	22 予算特別委員会	23	24	25 本会議 (委員長報告等)	26

午前9時開会(会議の日程等は変更になる場合があります)
※3月4日(金)田端西地区まちづくり対策特別委員会は午後1時15分開会
※3月25日(金)本会議は午前10時開会